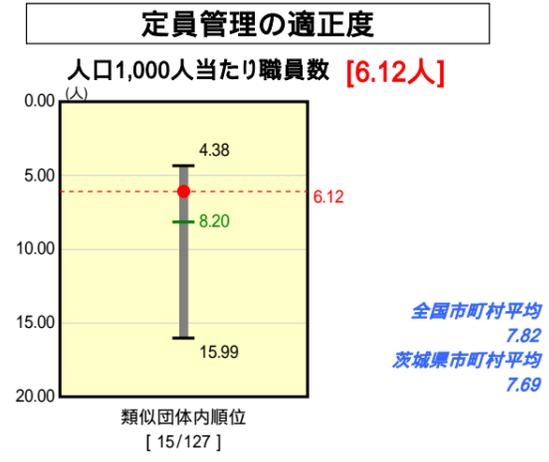
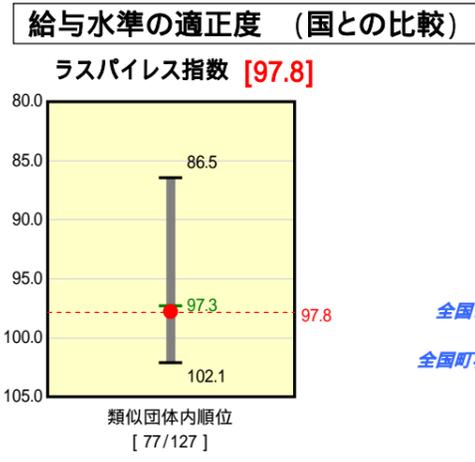
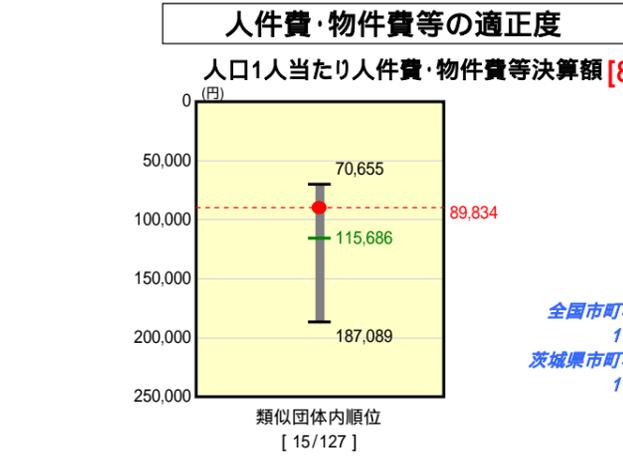
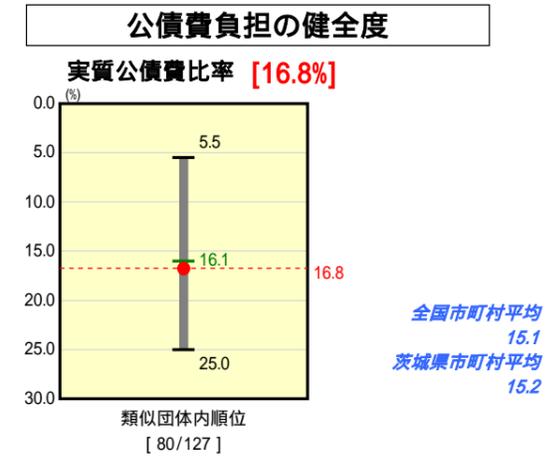
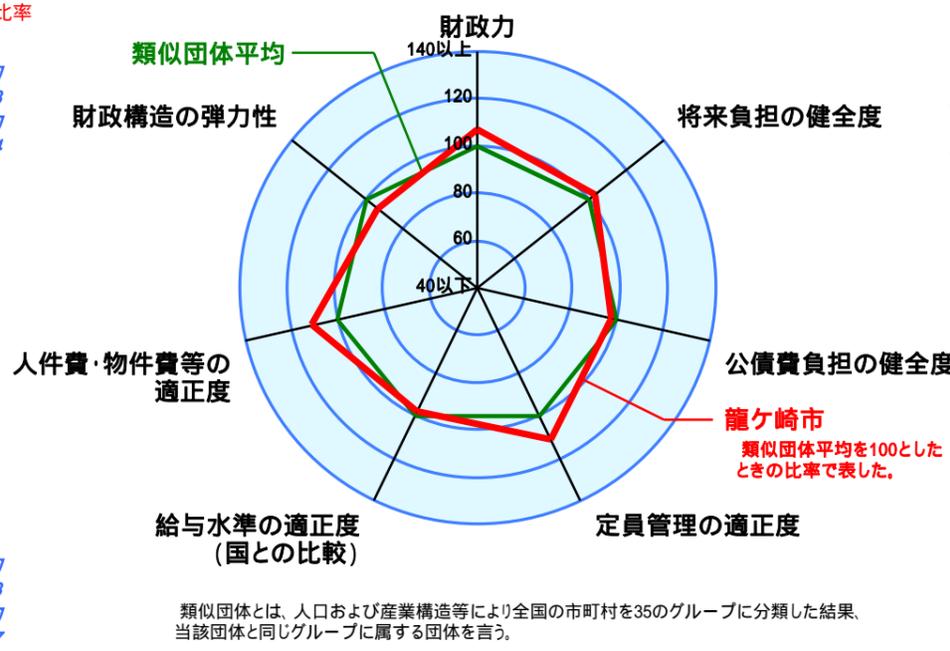
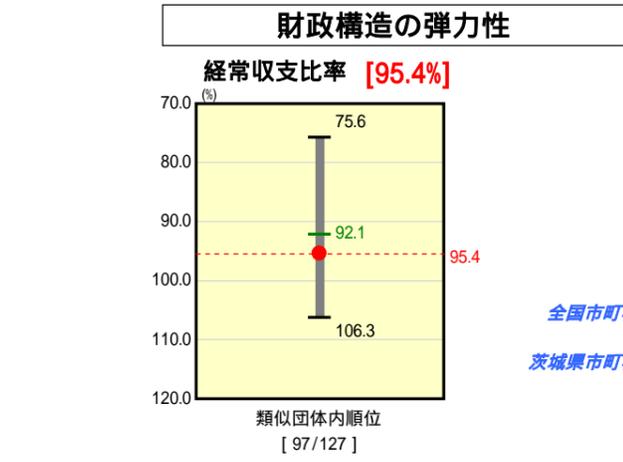
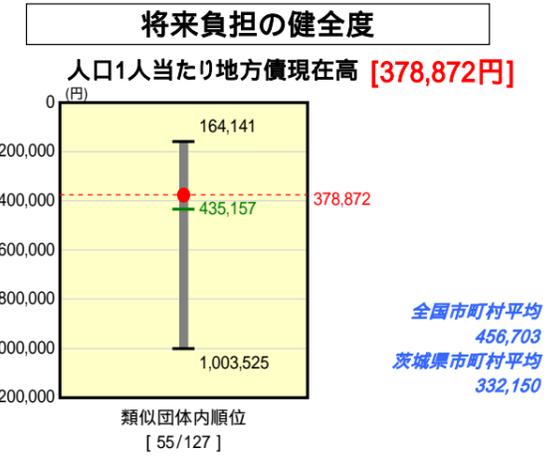
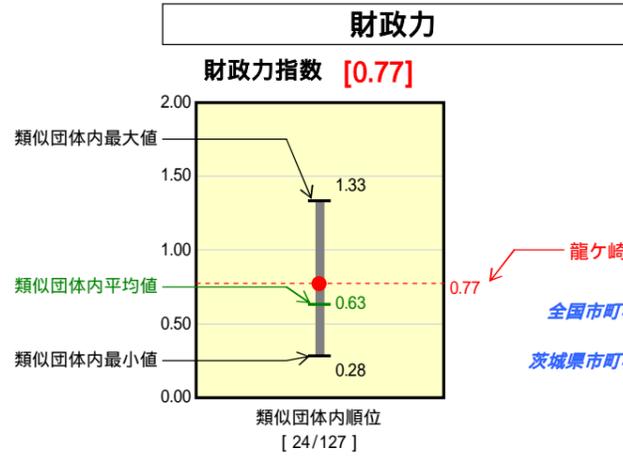


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

茨城県 龍ヶ崎市

人口	78,979 人	(H19.3.31現在)
面積	78.19 km ²	
歳入総額	22,518,822 千円	
歳出総額	21,894,833 千円	
実質収支	541,096 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
ニュータウン開発に伴う宅地化・人口増により類似団体平均を上回る収税があるため0.77となっている。今後、人口増等による収税の増も想定されることから、財政力指数0.8を目標として、税の徴収強化等による歳入の確保に努める。

【経常収支比率】
福祉部門における扶助費の増加に加え、ニュータウン開発に伴う先行投資や都市再生機構立替施行に係る起債や債務負担行為の償還がピークにあることから財政の硬直化が進んでいる。現在財政健全化に取り組んでおり、今後も平成19年度から21年度の3年間で総額15億円の財源確保を目標に掲げ、徴税の強化等による歳入の確保に努めるとともに、人件費の削減や市債の新規発行の抑制による公債費の削減など、歳出の削減を徹底していく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体との比較では良好となっている要因として、ごみ・し尿処理や消防業務を一部事務組合で行っていることがあるが、人件費における退職補充の抑制や時間外勤務手当の削減、物件費における市施設の省エネ取組や施設管理費用の見直し等もこれまで行ってきており、引き続き削減に努める。

【ラスパイレス指数】
給与構造改革等に伴い、昇給が抑制されたことや、前年度の退職者が多かったことから、指数が抑制され、全国市平均とほぼ同水準となっている。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体との比較ではやや良好にみえるが、ここには反映されないニュータウン開発に伴う公債費に準ずる債務負担や一部事務組合債の償還負担金の残高も多いため、市債新規発行の抑制(単年度16億円以内)とともに、既往債の借換えや繰上げ償還などに努める。

【実質公債費比率】
ニュータウン開発に伴う先行投資や都市再生機構立替施行に係る起債や債務負担の償還、一部事務組合債償還負担金等がピーク期にあることから、類似団体平均を上回っている。今後は、市債の新規発行の抑制に努めるとともに、既往債の借換えや繰上げ償還など、より適正な管理を図る。

【人口1,000人当たり職員数】
定員適正化計画の取組により類似団体平均を下回っている。今後は、平成18年度に策定した定員適正化計画に基づき、平成22年度までの5年間で7.8%(42名)以上の削減を目標とする。